

# 議会から ごんにちは

2022  
令和4年  
5.1

令和5年4月に開校予定の佐野市立葛生義務教育学校の校舎です。令和4年8月30日(夏休み明け)から葛生中学校の生徒が校舎の使用を開始する予定となっています。  
3月24日(木)に、佐野市議会議員全員で校舎の見学会を実施しました。見学会については18ページ(裏表紙)に記事がありますので、そちらもご覧ください。

## 臨時会

令和4年1月24日に臨時会を開催

## 令和4年2月定例会

- 令和4年度予算案を可決
- 予算審査特別委員会へ延べ34人が質疑
- 一般質問に20人が登壇

佐野市議会

検索



※撮影時のみマスクを外しました。

佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

佐野市議会ライブ中継

検索



# さの 市議会だより

[www.city.sano.lg.jp/gikai/](http://www.city.sano.lg.jp/gikai/)

# 令和4年度の予算案を審議、可決

令和4年度予算は、「令和4年度佐野市行政経営方針」及び「令和4年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対する質疑に春山敏明議員（新風）、金子保利議員（志翔会）、鶴見義明議員（日本共産党議員団）、久保貴洋議員（蒼生会）、小暮博志議員（政友みらい）、（以上質疑順）の5人が登壇しました。

また、議員全員で構成される予算審査特別委員会では、一般会計、特別会計及び企業会計の予算案に対し、3月14日、15日、16日、17日の4日間にわたり延べ34人の委員による質疑が行われました。その結果、新年度予算全7議案を可決し、併せて「令和4年度予算審査要望書（5ページに記載）」を取りまとめました。



市長の予算大綱説明

## ▶ 予算審査特別委員会

（パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます！）



副委員長  
小倉 健一



委員長  
小暮 博志

### 佐野市議会 議会中継 (令和4年)

「令和4年第2回(2月)定例会・常任委員会・予算審査特別委員会」からご覧ください。



## ▶ 予算審査特別委員会 質疑者一覧

一般会計			
発言 順序	氏名	発言 順序	氏名
1	田所 良夫	11	横井 帝之
2	春山 敏明	12	神宮次 秀樹
3	滝田 洋子	13	長浜 成仁
4	菅原 達	14	小森 隆一
5	鶴見 義明	15	久保 貴洋
6	慶野 常夫	16	飯田 昌弘
7	早川 貴光	17	澤田 裕之
8	高橋 功	18	鈴木 靖宏
9	金子 保利	19	木村 久雄
10	蘆原 政夫		

特別会計及び企業会計			
発言 順序	氏名	発言 順序	氏名
1	久保 貴洋	9	早川 貴光
2	小森 隆一	10	滝田 洋子
3	飯田 昌弘	11	澤田 裕之
4	木村 久雄	12	鈴木 靖宏
5	田所 良夫	13	金子 保利
6	菅原 達	14	長浜 成仁
7	春山 敏明	15	横井 帝之
8	鶴見 義明		



予算審査会場の様子

# 《 令和4年度予算の概要(当初予算額) 》

一般会計	507億1,000万円
特別会計	256億3,250万円
企業会計収入	97億5,170万円
// 支出	119億6,750万円

(1万円未満四捨五入)

## 議 会 費

<b>議員人件費</b>	2億1,040万円
議員24名の人件費	
<b>職員人件費</b>	7,200万円
議会事務局職員9名の人件費	
<b>政務活動支援事業費</b>	720万円
議員一人あたり年間30万円(月額2万5千円)の政務活動費を交付する費用(議員24名分)	
<b>議会運営総務事務費</b>	344万円
議会運営に関する諸費用	
<b>会議録作成事業費</b>	602万円
会議録作成費及び会議録検索システム使用料など	
<b>議会だより発行事業費</b>	402万円
さの市議会だよりの印刷費用(定例会号年4回分)	
<b>常任委員会活動支援事業費</b>	286万円
常任委員会の行政視察に使用する費用	
<b>議会映像配信事業費</b>	169万円
定例会の映像配信に要する費用	
<b>全国市議会議長会参画事業費、ほか7事業</b>	205万円
全国市議会議長会負担金など	
<b>計</b>	<b>3億968万円</b>

(注)各事業費の1万円未満を四捨五入しているため、実際の数値と異なることがあります。

## 予算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件 名【内 容】	議決結果	
<b>一般会計</b>			
議案第25号	令和4年度佐野市一般会計予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ50,710,000千円とする】	原案可決	賛成多数
<b>特別会計</b>			
議案第26号	令和4年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ11,852,500千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第27号	令和4年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ277,700千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第28号	令和4年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ11,893,100千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第29号	令和4年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算【歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,609,200千円とする】	原案可決	賛成多数
<b>企業会計</b>			
議案第30号	令和4年度佐野市水道事業会計予算【収益的収入の予定額を2,549,684千円、収益的支出の予定額を2,383,597千円、資本的収入の予定額を1,011,051千円、資本的支出の予定額を2,102,536千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第31号	令和4年度佐野市下水道事業会計予算【収益的収入の予定額を4,348,357千円、収益的支出の予定額を3,963,699千円、資本的収入の予定額を1,842,603千円、資本的支出の予定額を3,517,663千円とする】	原案可決	賛成全員

### 賛 否 が分かれた議案

議案番号	件 名	賛 成	反 対	議員名【議席番号順】																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議案第25号	令和4年度佐野市一般会計予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第26号	令和4年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第28号	令和4年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第29号	令和4年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※○＝賛成 ×＝反対

※山菅直己議長は採決に加わりません。

# 令和4年度予算審査要望書

## (消防団員の確保による地域防災力の充実強化)

- 1 少子化による若年層の減少及び就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等の要因により、近年、消防団員のなり手を確保することが難しくなっており、団員数は減少の一途をたどっている。消防団は、自助・共助の精神に基づく自発的な参加による住民組織という特色を併せ持ち、住民に身近な地域防災の中心的な存在として地域社会の安全安心の確保にとっても大きな役割を担っている。お互いが助け合い、支えあう地域社会づくりに向け、地域の皆さんが積極的に消防団活動に参加し、協力していただけるよう消防団の現状及び課題を把握して今後の施策の方向性を見いだし、消防団員を確保して地域防災力の充実強化に努められたい。

## (スマートーフシティ及びDX化の推進)

- 2 新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見通せない状況であり、市民の安全安心を確保するためにもデジタル弱者に配慮しながら、デジタル技術、先端IT技術等を活用したスマートーフシティの実現に向け取り組まれない。また、少子高齢化による人口減少及び労働力不足も喫緊の課題である。現在、解決に向けIT化は進んでいるが、更に一歩進んだDX化にも取り組まれない。

## (安心して暮らし続けるまちづくり)

- 3 本市では、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう新型コロナワクチン接種が推進されているが、新型コロナウイルス感染症は未だ収束に至っていない。エッセンシャルワーカーの負担を軽減するためにも、継続して収束に向けて万全を図られたい。  
ヤングケアラーの社会的認知度の向上を図り、並びにヤングケアラーと思われる児童生徒及びその家庭の早期発見と適切な支援を進められたい。併せて、地域の医療と介護が持続可能となるよう、また、市民が安全で安心な移動ができるよう、環境づくりに努められたい。

## (Withコロナ・Afterコロナの経済活性化支援)

- 4 新型コロナウイルス感染症は、度重なるまん延防止等重点措置の実施及び緊急事態宣言の発出により、感染拡大に歯止めはかかったものの、経済活動に大きな打撃を与えた。雇用においては、有効求人倍率の低迷が地域経済の悪化の現状を示している。進化する佐野市を創造するには、コロナ禍であっても安心して仕事を続けられる環境整備が必要である。そのためには、東京都市圏に通わなくてもオフィスワークが可能となるよう遊休公共施設を活用した環境整備を行い、大手企業の誘致を強化すること、及び本市に進出したいという企業の声に寄り添った対応を進められたい。  
また、観光業は、依然としてコロナ禍の大きな影響を受け続けているため、観光施設の整備、積極的な観光PR、ムスリムに対応した受入態勢の整備、積極的なプロモーションの活用等により、旅行者の誘客を図られたい。

## (本市で就職し移住・定住できる環境づくり)

- 5 移住・定住の促進を掲げる本市においては、若年層の市外への流出を防ぐためにも、高質な雇用の創出は急務である。(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの供用開始に向け整備が進む中、本市の高速・広域交通網の利便性を活かし、新たに魅力ある産業団地を整備・開発することにより、企業誘致による雇用を創出し活力ある豊かな地域社会の実現に努められたい。

## (安全安心なインフラ整備の推進)

- 6 激甚化する自然災害から市民の命を守るための防災・減災対策及び全国で頻発する通学路での交通事故から子どもたちを守るための交通安全対策は、喫緊の課題である。国の「緊急自然災害防止対策事業」を活用した流域治水の推進及び国の「防災・安全交付金」を活用した通学路の交通安全対策の推進に努められたい。



じんぐうじゅひでき  
神宮次秀樹 議員(政友みらい)

ふるさと納税に  
ついて



**Q** 令和3年度における佐野市のふるさと納税の寄附額は、令和2年度に比べ10倍以上の伸びであり、令和4年度がさらに期待される。令和4年度予算は約5億3,000万円計上され、返礼品の充実などが計画されているが、令和4年度の事業内容について伺いたい。

**A** 市長

令和4年度においては、寄附額のさらなる向上及び本市の魅力を全国の方に知っていただくことを目指し、ポータルサイトの増設を検討するとともに、返礼品の増加に向けた事業者への働きかけなど継続して取り組んでいきたいと考えています。

ふるさと納税制度の取組を強化することにより、選ばれる佐野市づくりを進め、税外収入の確保や本市経済の活性化を図っていく考えです。

その他の質問

☆あそ野学園義務教育  
学校周辺の市有地の  
活用について



すがわら  
すか  
原 達 議員(公明党議員会)

避難所への非常用電源  
の導入について



**Q** 日常的に人工呼吸器などの医療的ケアが必要な方が災害で避難を余儀なくされた際、指定避難所での医療的ケアの継続が非常用電源の確保の面からも十分でないことは指摘されている。個別計画の中であらかじめ非常用電源の必要な方を掌握し、その方が避難する福祉避難所を指定避難所と定め、そこに非常用電源を確保させる。その上でそこに直接避難する体制をつくることで、医療的ケアが必要な方への安定的な非常用電源の確保につながるものと考えているかがか。

**A** 行政経営部長

効果的な対策であると認識しています。今後個別計画策定の際には、医療的ケアが必要な方に福祉避難所への直接避難に対する意向聴取を行うなど体制基盤の整備を図りたいと考えています。

その他の質問

☆公共施設へのWi-Fi環境の整備  
について  
☆放課後児童健全育成事業の適  
正化と質の確保について  
☆オンライン学習のあり方について



たきた  
ようこ  
滝田 洋子 議員(日本共産党議員団)

市における女性職員  
の活躍について



**Q** 市民の方からの要望で、女性副市長の登用というものがあつた。大事な市政を話し合うときに、その場所に女性がない、少ないということがあり、ジェンダー平等と言われている今、これからの佐野市をよくしていくために、副市長に女性を公募で選び、新鮮な風を入れるということを提案するが、どのように考えるか。

**A** 市長

副市長は、市長を補佐しながら政策及び企画を推進し、職員の担任する事務を監督する役割を担っています。当面現体制での市政運営を考えていますが、今後の登用に当たっては、女性、男性という視点に捉われず、副市長にふさわしい人材を登用していきます。

その他の質問

☆公園等設備について  
☆電車通勤・通学の利  
便性向上について  
☆中学校の部活動につ  
いて





はぎわら まさお  
**政夫** 議員(政友みらい)  
 新型コロナウイルス  
 感染拡大による販売  
 農家支援について



**Q** 農業、農村が持つ国土の保全、水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮できるよう、各種施策や取組を通して、その持続的な発展に努めていくことが重要と考えるが、販売農家への支援に対する考え方について伺いたい。

**A** 産業文化部長

コロナ禍が長期化する厳しい状況の中、本市の農業を振興する上で、販売農家に対する営農継続のための支援は必要であると認識しています。今後も引き続き関係機関でもあるJA佐野や栃木県安足農業振興事務所などとの連携により、販売農家に対して補助事業の情報提供に努めていきます。

また、コロナ禍による各自治体の支援状況についても情報を収集し、本市農業の実情に合った支援策を研究していききたいと考えています。

**その他の質問**

- ☆旗川地区付近における有害鳥獣被害について
- ☆小中学校の教員の働き方改革について
- ☆特別養護老人ホームの待機者について



こぐれ ひろし  
**博志** 議員(政友みらい)  
 地球温暖化対策について

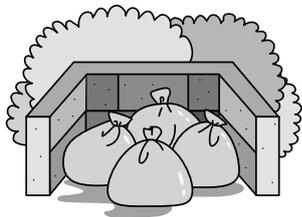


**Q** 温室効果ガスが最も多く発生している廃棄物焼却量の削減及び家庭部門の温室効果ガス排出削減の推進に当たり、それぞれの具体的な方法を考えているのか。

**A** 市民生活部長

温室効果ガスの削減を推進するためには、燃えるごみの減量化を図ることが重要であることから、町会や各種団体を対象とした分別説明会を積極的に開催するとともに、食品ロスの削減及び生ごみの減量化の推進を考えています。

家庭部門の温室効果ガス排出削減の推進については、市民に対し、温室効果ガス排出削減の理解、促進を図るとともに、住宅用省エネルギー機器等の積極的な導入や住宅用太陽光発電設備の導入、さらには断熱効果等の高い住宅の建設促進についての取組を考えています。



くぼ たかひろ  
**久保** 議員(倉生会)  
 閉校になった学校跡地について



**Q** 旧山形小学校跡地活用事業について、契約候補者に特定された事業者、今後のスケジュール及び事業者の提案内容について伺いたい。

**A** 市長

特定したのは有限会社ヤマダ様で、今後は、市議会6月定例会での議決を経て本契約として成立する予定です。

**A** 総合政策部長

提案内容は、体育館を精密板金加工の工場として活用すること、校舎については宇都宮大学や華道草月流との連携によるものづくりアート教室の開催や学びの場の提供、カフェと地域物産店の常設、シェアオフィスでの新しい企業の誘致を図ること、また、地域防災拠点として災害時に校舎を避難所とすることなどがあります。

地元地域住民からの雇用、校舎内へのコミュニティースペースの設置、交流人口拡大による地域への経済効果などが提案されています。

**その他の質問**

- ☆スポーツ施設の整備について



春山 敏明 議員(新風)

自然現象や社会的要因がこれまでと異なる変化を見せる中で、消防救急について



Q コロナ禍における救急搬送の実態はどうだったのか伺いたい。

A 消防長

コロナ禍以前と比較すると、救急件数自体は急病や交通事故は減少傾向であり、医療機関での受診を控える動きや外出自粛によるものと推察されます。

119番通報から現場到着までの平均所要時間は、コロナ禍以前の令和元年と比較し、平均で50秒ほど遅延が生じています。救急隊員の感染防止対策である个人防护装備に若干の時間を要していることに加え、コロナ関連で通報受付時の聞き取り内容が増えることが遅延の要因であると考えています。さらに、救急隊員自身や救急車内の除染、消毒の頻度も極端に増えており、救急隊のみならず、除染、消毒作業を担う消防隊員の負担も増加しているのが現状です。

その他の質問

☆ジェネリック医薬品(後発薬)について

☆佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(後期計画)について



田所 良夫 議員(新風)

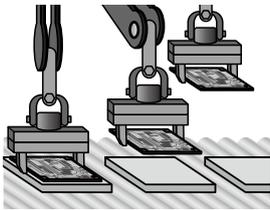
第2次佐野市総合計画について



Q 「産業の米」といわれる半導体について、令和3年12月14日、衆議院予算委員会での質疑応答がされたが、その内容をとおね認識しているか。

A 産業文化部長

新型コロナウイルスの世界的パンデミックの影響により、半導体の生産、流通が阻害され、国内でものづくりができなくなる事態に陥っているというものでした。アメリカやEU、韓国などの諸外国では、重要な製品の製造を自国内で行えるよう、補助金や税額控除など、国家戦略として半導体事業者への積極的支援措置を講じているとのことでした。本市も、半導体は今後のデジタル社会を支える重要基盤であることから、熊本県の大規模工場誘致事例などを参考に、国や県の動向を注視し、半導体産業の誘致についても調査研究を進めたいと考えています。



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

第2次佐野市総合計画中期基本計画(基本目標)「魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくりのまち」を推進し、産業振興で活力あるまちづくりを



Q 他の自治体との都市間競争に打ち勝つための方策及び方針について、市長に考えを伺いたい。

A 市長

魅力あるまちづくり、特に働く場所の提供が大きな要素であると考えています。中期基本計画に掲げられた「進化する佐野市」、「選ばれる佐野市」の実現に向けて、本市への進出を希望する多くの企業を受け入れることは、地域活性化という点からも非常に重要であると考えています。現在、本市は、早期の産業団地整備のため、働く場所の提供に向けた取組を進めています。そのためにも、期間の短縮化が見込まれる整備の容易なエリアを見出し、整備コストの削減並びに整備効率の向上につなげ、今後とも進出を希望する企業にとつての「選ばれる佐野市」となるよう事業を推進していきます。





はやかわ たかみつ  
早川 貴光 議員

持続可能な行政運営  
について



**Q** 第5次行政改革大綱(案)において、行政改革の基本的な考えの中で、効率性だけではなく、行政サービスに付加価値を加えて成果を向上させていくとあるが、付加価値の具体的な例を伺いたい。

**A** 行政経営部長

これまで行ってきた行政サービスを同じように提供するのではなく、市民に対してはICTの活用などにより利便性を向上させることで付加価値を加えることができるものと考えています。例えば、オンラインでの証明書の申請、取得やプッシュ型の情報発信などが挙げられます。また、職員にとっては効率性を向上させることで、企画立案に充てる時間を増やし、付加価値として成果、効果向上のための新たなサービスを生み出していくことができると考えています。



すずき やすひろ  
鈴木 靖宏 議員(倉生会)

国道50号沿線開発  
に向けた取組について



**Q** 国道50号沿線開発基本計画等の事業化に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。

**A** 産業文化部長

国道50号沿線開発構想における田島インター周辺のエリアについて優先的に取り組み、東部エリアについても、沿線開発の早期事業化に向けた検討を同時進行で進めていきたいと考えています。

今後は、意向調査等により進出を希望する企業のニーズを整理するとともに、地元町会への説明会や意向調査を行い、関係地権者との合意形成を図りたいと考えています。

また、令和7年度に予定されている都市計画の定期線引きによる市街化編入を目標とし、庁内関係部署や栃木県関係機関等との各種調整、協議を進め、都市計画の手続後は、直ちに事業に着手していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆渡良瀬川架橋促進について
- ☆防災ヤードの設置と建設発
- ☆土の再利用について



きむら ひさお  
木村 久雄 議員(公明党議員会)

自然を活かした  
街づくりについて



**Q** 自然が持つ多様な機能を活用して道路や河川等の社会基盤を整備するグリーンインフラの導入が全国的に進められている。グリーンインフラに関する本市の見解を伺いたい。

**A** 市長

グリーンインフラについては、社会资本整備や土地利用などのハード、ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土、都市、地域づくりを進める取組であると認識しています。グリーンインフラは、新しいキーワードではありますが、これまで本市においても自然環境を活用しながら、防災・減災、地域振興、環境保全などに取り組んできました。今後とも自然環境に配慮したまちづくり、いわゆるグリーンインフラを推進していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆子育て支援について
- ☆AEDについて





つねお 慶野 常夫 議員(政友みらい)

公用車について



環境に優しく災害に強い持続可能なまちづくりを推進していくために、電気自動車の普及を推進してほしいと思いが、考えと具体的な取組について伺いたい。

総合政策部長

今日、世界各地で地球温暖化防止のための取組が推進されていますが、本市も第4次佐野市役所地球温暖化対策実行計画の中で、低燃費車、低公害車の積極的な導入を掲げていますので、今後、計画的に電気自動車の普及に取り組んでいきたいと考えています。

電気自動車普及の今後の取組ですが、財産活用課が所管している集中管理車の車両の変更時期が来ますので、その車両の変更時期に合わせ、更新台数の一定数、1割程度を目標に電気自動車の入替えを順次行っていくと考えています。

その他の質問

- ☆電気自動車を活用した災害対応力強化について
- ☆羽田工業団地の民間企業との災害協定に向けた取り組みについて
- ☆新型コロナウイルスについて



さわだ 澤田 裕之 議員(蒼生会)

小中学生の学校生活について



葛生義務教育学校の開校に際して、特色ある教育についてどのような点を特徴とするか、現時点での考えを伺いたい。

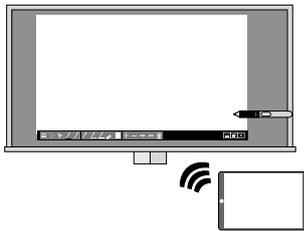
教育長

1つ目の特徴としては、小中一貫教育の核となる新教科、くずう未来科の設定です。ふるさとを学習材とした探究的な学習を取り入れることで、課題の解決に必要な資質・能力、またふるさとを大切にする心の育成を目指しています。

2つ目の特徴として、ICTを生かした学習の推進です。ICTの特徴を生かした学習環境を整え、教員がICTの活用を積極的に図ることにより、変化の激しい21世紀を生きる児童生徒に求められる、情報活用能力等の資質、能力を育むとともに、学力向上を目指します。

その他の質問

- ☆中山間地域対策について



たかはし 高橋 功 議員(蒼生会)

脱炭素社会・循環型社会の実現について



※ゼロカーボンシティの宣言について、ゼロカーボンシティであることを表明するためには、どのような手順を踏む必要があるのか伺いたい。また、本市がゼロカーボンシティの宣言を行う時期についても伺いたい。

市民生活部長

ゼロカーボンシティ宣言の手順については、特に定めがあるわけではありません。ほかの自治体では、記者会見や環境に関するイベント等で、市長等による表明事例が多いようですので、本市においても、同様の方法により表明することを考えています。

市長

ゼロカーボンシティの宣言については、令和4年度の上半期中に表明したいと考えています。

その他の質問

- ☆葛生義務教育学校の開校に向けて

※ゼロカーボンシティとは・・・2050年にCO2(二酸化炭素)を実質ゼロにすることを旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体(環境省による定義)



鶴見 つるみ

義明 よしあき

議員(日本共産党)

新型コロナウイルス  
感染症対策について



**Q** 栃木県のまん延防止等重点措置が、令和4年3月21日までの再延長となったが、全く先が見えないのが現実である。現在行っている無料の抗原定量検査は、無症状の人たちを助け出すという非常に大きな意義があり、必要性がさらに高まるのではないかと思う。

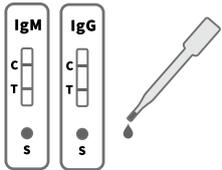
そこで、当初令和4年3月までだった無料の抗原定量検査の期間を延長することを求めたいと思うが、現在の考えを伺いたい。

**A** 健康医療部長

感染拡大防止のために、症状がない方の心配をされている方もいらっしゃると思いますので、無料抗原定量検査については、令和4年度の予算の中にも、無料の抗原定量検査費用を計上しました。

### その他の質問

☆就学援助について  
☆国民健康保険税について



小森 こもり

議員(公明党)

空き家対策について



**Q** 空き家等を活用した移住促進を加速させる施策等と住宅セーフティネット制度への取組状況を伺いたい。

**A** 市長

空き家を利用した施策については、現在、本市への定住を目的に空き家バンクを利用し空き家を取得した方を対象に、改修費用に対する補助を行っています。このほか若者等移住定住促進奨励金として、市外から転入し住宅を取得した若者世帯を対象に奨励金を交付しています。

**A** 都市建設部長

住宅セーフティネット制度は、民間の空き家、空き室を活用して、高齢者や障がい者、子育て世帯、低所得者世帯などの住宅の確保に配慮が必要な方に、入居を拒まない賃貸住宅の提供を促進する制度です。空き家の利活用として有効活用の一つであると考えますので、今後は周知啓発を図りたいと考えています。

### その他の質問

☆新型コロナウイルスワクチン接種について  
☆社会的孤立対策について



小倉 おくら

議員(自由党)

佐野市の公共交通に  
ついて



**Q** 赤見中学校区、あそ野学園義務教育学校区の高校生には、足利方面への長距離の自転車通学や毎日の保護者送迎など厳しい通学環境の生徒がいる。現足利線の活用促進と新たな路線の整備が必要と考えるが、見解を伺いたい。

**A** 都市建設部長

足利線の利用促進については、地域性もあり、運行経路などの変更を行った場合、現在の利用者に影響が生じるおそれがあるため、大幅な変更は困難だと考えています。

新たな路線の整備については、現在策定中の佐野市地域公共交通計画に移動の効率化を図るための市内、市外移動手段の役割分担が示されています。また、本市から他市へバスを新規に乗り入れする場合、既存の公共交通と競合が生じないかなど、十分な協議が必要となります。現段階では、足利市への新規路線の整備は困難だと考えています。

### その他の質問

☆新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援について



ながはま 成仁 議員(政友みらい)  
第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について



**Q** 小さな拠点づくりに関して、本市が令和3年度に行った取組と、令和4年度に行う取組について伺いたい。

**A** 市長

令和3年度の取組としては、三好地区、野上地区、新合地区、飛駒地区、常盤地区、水室地区の町会長や役員の方に対し、小さな拠点づくりに関する目的や制度概要、成功事例などの説明を行いました。

令和4年度の取組としては、中期基本計画においても都市機能の充実したまちづくりの政策の中で、小さな拠点の形成に向け、市民との連携を図る旨を明記しましたので、引き続き勉強会やワークショップを開催するとともに、地域特性に応じた小さな拠点のモデルの提案なども行っていく予定です。

その他の質問

☆まちなかの活性化について  
☆健康増進法の一部を改正する法律の運用について



よこた 誠 議員(新風)  
地域部活動について



**Q** 地域部活動を推進する個人及び団体等の指導者兼運営主体の確保について伺いたい。

**A** 観光スポーツ部長

地域部活動推進事業の趣旨から、地域の担い手は個人では退職した教員、市スポーツ推進委員など、また団体では市スポーツ協会競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等が考えられます。個人、団体が円滑に地域部活動に携わるには、学校との調整や指導者の人的管理を担うしかりとした運営主体が必要で、また、地域から指導者確保が難しい場合、国の方針では民間のスポーツクラブを始めとする事業者等が担うことも想定しています。学校、スポーツ団体等様々な関係団体と十分に協議し、本市の実情を踏まえた推進体制をつくるのが肝要であると考えています。



令和4年第1回臨時会 審議された議案と結果

1月24日(月)に臨時会が行われました。審議された議案とその結果は次のとおりです。

議案番号	件名【内容】	議決結果	
議案第1号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第11号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,605,108千円を追加、繰越明許費の補正】	原案可決	賛成全員

## 令和4年第2回定例会(2月定例会) 審議された議案等と結果

第2回定例会(2月定例会)は、2月25日(金)から3月23(水)までの27日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。令和4年度予算に係る議案は、4ページをご覧ください。

議案番号等	件名【内容】	議決結果	
議案第2号	教育委員会委員の任命について【伊藤 <sup>いとうひろたか</sup> 弘教氏を任命】	任命同意	賛成全員
議案第3号	佐野市個人情報保護条例の改正について【デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の廃止並びに個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第4号	佐野市印鑑条例の改正について【専用端末機による印鑑登録証明書の交付を廃止し、印鑑登録原票の登録事項から男女の別を削り、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第5号	佐野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正について【職員が不妊治療に係る通院等をする場合に、特別休暇を取得できるようにするための改正】	原案可決	賛成全員
議案第6号	佐野市国民健康保険税条例の改正について【国民健康保険税の課税限度額を改め、及び未就学児に係る軽減措置を加え、並びに地方税法の改正に伴い所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成多数
議案第7号	佐野市公共施設整備基金条例の改正について【佐野市公共施設整備基金を整備の財源に充てる公共施設を拡充するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第8号	佐野市スポーツ振興基金条例の廃止について【佐野市スポーツ振興基金の全額を取り崩し、国民体育大会開催事業の財源とするための廃止】	原案可決	賛成全員
議案第9号	佐野市新型コロナウイルス感染症に係る事業資金借入金返済利子補助事業基金条例の制定について【新型コロナウイルス感染症に係る事業資金借入金返済利子補助事業に要する経費の財源を確保するための制定】	原案可決	賛成全員
議案第10号	佐野市教育支援委員会条例の制定について【佐野市教育支援委員会を設置するための制定】	原案可決	賛成全員
議案第11号	佐野市国際クリケット場条例の改正について【佐野市国際クリケット場の設置の目的を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第12号	佐野市医療費助成に関する条例の改正について【こども医療費及び重度心身障がい者医療費における助成対象者を拡充するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第13号	佐野市保育所条例の改正について【佐野市石塚保育園及び佐野市吉水保育園を廃止するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第14号	佐野市生活改善センター条例の改正について【佐野市白岩生活改善センター、佐野市上牧集落センター及び佐野市秋山生活改善センターを廃止するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第15号	佐野市勤労者住宅資金利子補給条例の廃止について【勤労者の住宅資金の借入金に係る利子の補給を廃止するための廃止】	原案可決	賛成全員
議案第16号	佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正について【アグリタウン地区整備計画区域における建築物に関する制限を定めるための改正】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件名【内容】	議決結果	
議案第17号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第12号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ14,332千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第18号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第13号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ739,445千円を減額、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第19号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ102,249千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第20号	令和3年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ350千円を減額、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第21号	令和3年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ5,145千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第22号	令和3年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ1,738千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第23号	令和3年度佐野市水道事業会計補正予算(第2号)【収益的収入の予定額に146千円を追加、収益的支出の予定額から17,306千円を減額、資本的支出の予定額に331千円を追加、職員給与費の予定額から17,105千円を減額、他会計からの補助金を82,984千円に変更】	原案可決	賛成全員
議案第24号	令和3年度佐野市下水道事業会計補正予算(第1号)【収益的支出の予定額に1,057千円を追加、資本的支出の予定額に2,152千円を追加、職員給与費の予定額に3,209千円を追加、利益剰余金の処分に関する条文を削除】	原案可決	賛成全員
議案第32号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第14号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ14,000千円を追加】	原案可決	賛成全員
決議案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について(15ページに記載)	原案可決	賛成全員

## 賛否が分かれた議案

議案番号	件名	賛	反	議員名【議席番号順】																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議案第6号	佐野市国民健康保険税条例の改正について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※○=賛成、×=反対

※山菅直己議長は表決に加わりません。

# 決議案の審議結果

## 決議案第1号

### ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について

(提出者)飯田昌弘議員、(賛成者)小暮博志議員、春山敏明議員、木村久雄議員、鶴見義明議員、金子保利議員によりロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成全員で可決されました。

### ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

令和4年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民を含め多くの命が奪われている。さらに、ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ現地在留邦人は、緊迫した状況のなか、安否確認の対応に追われる等、厳しい状況におかれている。

武力によるロシアの攻撃は、ウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することができない暴挙である。

このように武力による一方的な現状変更は、明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて看過できない。

よって、佐野市議会はロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議するとともに、ロシア軍のウクライナへの侵攻を直ちに中止し、即時撤退するよう強く求める。

また、日本政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、唯一の戦争被爆国として、核兵器による惨禍を再び繰り返さないよう国際社会と緊密に連携し、厳格かつ適切な対応を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月7日

佐野市議会



## ウクライナ人道危機救援金を寄附しました

令和4年3月25日(金)、佐野市議会議員親睦会が日本赤十字社に対し、ウクライナ人道危機救援金30万円を寄附しました。

救援金の寄附は議員からの提案により決まり、親睦会の山菅直己会長と横田誠副会長から、日本赤十字社栃木県支部佐野市地区長である金子裕市長に手渡されました。



# オンライン議会報告会

～ 議会報告を動画で配信しました～

背景

佐野市議会では、佐野・田沼・葛生の3会場で議会報告会を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度は開催しませんでした。

令和3年度も状況は大きく変わらなかったため、議会報告を動画で市民の皆様にお届けすることにしました。



## 動画の内容

### 1 開会あいさつ

### 2 令和3年12月定例会報告

- (1) 総務常任委員会
- (2) 厚生常任委員会
- (3) 経済文教常任委員会
- (4) 建設常任委員会



### 3 令和2年度決算報告

### 4 政策提言活動紹介

テーマ1

「ゼロカーボンシティと地域課題解消に向けた循環型社会への取り組み」

テーマ2

「JR佐野駅南地域の再開発」

### 5 閉会あいさつ

佐野市議会ホームページ  
から視聴できます

- ① 佐野市議会のトップページから視聴できます。  
<https://www.city.sano.lg.jp/sp/shigikai/index.html>
- ② QRコードから動画の特集ページにアクセスして視聴できます。

動画の  
特集ページは  
こちらから



どうやって  
視聴できるの？



YouTube  
から視聴できます

- ① YouTube にアクセスし、**佐野市議会報告会**と検索して視聴できます。

※インターネットの通信料は視聴者の自己負担ですご注意ください。

## 撮影の裏側



●オンライン議会報告会の撮影の様子です。



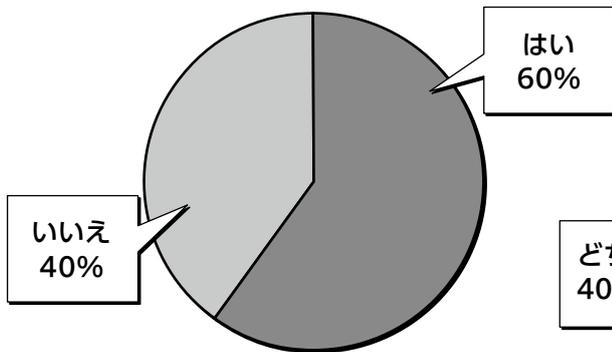
●撮影・編集などすべて議員が行いました。

## アンケート結果

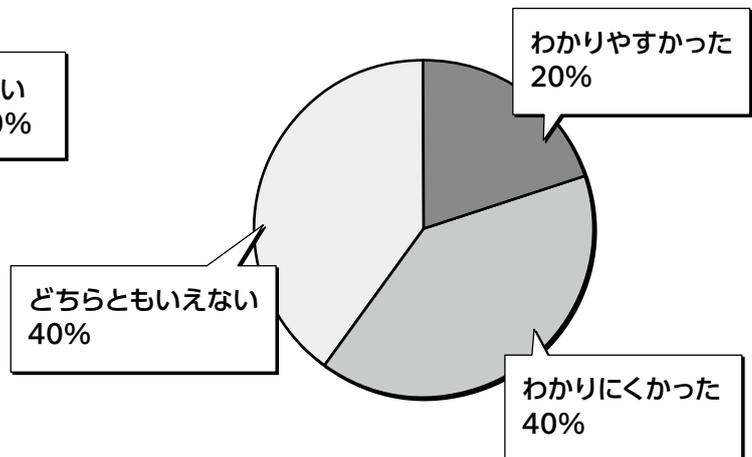


3月1日～18日までアンケートでご意見を募集しました。  
その内容の一部をご紹介します。

Q 次回も議会報告会に参加したいと思いますか？



Q 議会報告会の内容について



### いただいた ご意見 (抜粋)

○各委員会の構成や役割などがわかりましたが、時間が短かったためか報告が早口になってしまい、内容が伝わりにくいのではないかと思います。  
コロナ禍で会場でできないのは残念ですが、オンラインで流せる事は非常に良いことだと感じます。  
できれば、委員会報告だけでなく各議員がどんな質問をして、どんな回答が得られたのかなども報告して欲しいと思います。

○市外の者ですが、報告内容は理解できました。特にスライドが見やすくとてもわかりやすかったです。  
今後も機会あれば視聴させていただきます。

# 令和4年6月定例会日程(案)

新型コロナウイルスの感染状況により、日程を変更する場合があります。令和4年第3回定例会の日程は5月27日(金)の議会運営委員会で内定し、6月3日(金)の本会議で決定します。

5/23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)	29日(日)
		請願・陳情 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
30日(月)	31日(火)	6/1(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)	11日(土)	12日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)
10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会	休会
20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)
10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会し、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

## 佐野市立葛生義務教育学校校舎 見学会を実施しました

令和4年3月24日(木)に、佐野市立葛生義務教育学校校舎見学会を実施しました。

全議員が参加し、職員の説明を受けながら、改修後の管理棟教室、特別棟教室、屋内運動場を見学しました。

葛生義務教育学校は、施設一体型義務教育学校として、令和5年4月の開校に向けて準備が進められています。次代を担う子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな心と健やかな体を育成する場となることが期待されます。



### 【編集委員会】

委員長 鈴木 靖宏  
委員 慶野 常夫  
委員 木村 久雄  
委員 横井 帝之  
委員 久保 貴洋

### 編集後記

2月定例会では、令和4年度予算の大綱について、会派代表による質疑が行われました。また、令和4年度一般会計・特別会計・企業会計の予算について、予算審査特別委員会で熱心な質疑が行われました。令和4年度一般会計予算は、合併後最大の大型予算となりました。令和4年度は佐野市の20年、30年先を見据えた仕組みを作る本格的なスタートとなる年です。市民の皆様から求められるのは“実現力”です。今後も、様々な課題を解決し、市民サービスの向上に努めます。

(久保記)

本紙は再生紙を使用しています。

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 [佐野市議会](#) 議会からこんにちは 2022.5.1 18

佐野市議会事務局  
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411  
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp